

館林市災害時受援計画〈概要版〉

第1章 総則

1 災害時受援計画の趣旨

本市においては、関東平野北西縁断層帯主部や太田断層を震源とした震度6弱以上の発生が懸念されており、発災後の応急対策や復旧・復興活動は困難を極めるものと予測される。したがって、外部からの支援を効果的に活かすための受援体制を事前に整備するとともに、発災時の円滑な運用のために、あらかじめ具体的に支援の受入れにかかる事項を明文化し、職員が理解しておく必要がある。

このことから、本市では、今後発生のおそれがある大規模災害に備え、外部からの支援を効果的に受入れるための、「館林市災害時受援計画」を策定する。

2 計画策定の基本的な考え方

- (1) 受援体制の整備や受入れに係る役割分担の明確化
- (2) 物資の調達や物流に係る受援体制の整備
- (3) 受援対象業務の明確化と迅速に応援要請できる準備
- (4) 早期の応援要請

3 計画の対象とする応援・受援の範囲

本計画では、災害発生後から想定される応援・派遣の形態のうち、初動期や応急期を中心とした、避難所運営や住家被害認定調査等を対象範囲とする。

4 本市の受援体制

①受援チームの設置

大規模災害時における応援を円滑に受入れるため、応援受入の総合的窓口として災害対策本部内に「受援チーム」を設置する。

【受援チームの主な業務】

- 災害対策本部全体の受援に関する状況把握・とりまとめ
- 受援に関する各部各班の調整
- 受援調整会議の開催
- 応援職員への支援

②指揮者及び受援担当者の設置

各部各班においては、受援対象業務ごとに指揮者と受援担当者を指定する。

【受援担当者の主な業務】

- 受援に関する状況把握
- 資源の調達・管理
- 支援団体等との業務の調整
- 受援調整班への報告
- 応援職員への支援

③受援調整会議

応援が必要となった、又は必要となる可能性がある場合には適宜、受援調整会議を開催する。受援調整会議は各部各班の受援の必要性や受援の状況等について情報共有するとともに、全体調整をする。

第2章 人的支援

1 基本的な考え方

大規模災害発生時に本市職員のみでは人員が不足することを想定し、外部からの人的支援の受入れを円滑に実施するため、受援業務の手順や各部各班と受援チームの役割分担を明確化する。

第3章 物的支援

1 基本的な考え方

災害が発生した場合、市は、避難所に避難した者や避難所以外の場所に滞在する被災者に対して、食料、衣料、医薬品その他の生活関連物資を供給する。本市では、備蓄品の整備や市民への備蓄の呼びかけを行っているが、避難生活の長期化や物流の復旧に時間がかかった場合、物資が不足することが想定される。そこで、災害発生時に物資の供給を円滑に実施するため、物資の調達及び物流について、外部からの支援を受入れる体制を整備する。

第4章 受援対象業務

1 受援対象業務の基本的な考え方

業務継続計画で定めた非常時優先業務（461業務）のうち、災害対応業務の中から、今回は、応援職員を受入れる可能性が極めて高いと考えられる業務を5業務選定した。

| No. | 業務名 | 所管 | |
|-----|--|-------|-------|
| 1 | 本部の総括に関すること | 総務部 | 本部班 |
| 2 | 市教育委員会所管施設の避難所開設の総括に関すること (避難所の運営の総括) | 教育部 | 教育総務班 |
| 3 | 災害時の廃棄物処理に関すること | 市民環境部 | 環境班 |
| 4 | 住家等建築物被害状況及び人的被害調査に関すること (建物被害調査) | 政策企画部 | 調査班 |
| 5 | 罹災証明書の交付に関すること | 総務部 | 行政班 |

第5章 応援団体別の受援体制

大規模災害が発生し、本市が単独で対処することが困難であると判断された場合に、速やかに各応援団体へ応援要請を行うため、要請内容や受入手順について定める。

【応援団体等の種別】

- ①地方公共団体
- ②自衛隊
- ③医療機関（医師会・DMAT）
- ④災害時応援協定締結団体
- ⑤災害ボランティア

第6章 受援力向上に向けた取り組み

1 本計画の修正・推進

本計画は、PDCAサイクルを活用して、訓練を重ねながら随時見直していく。各部各班においては、国の新しい制度や知見等の情勢の変化に伴う時点修正を取り入れて、マニュアル等に受援対象業務の内容を反映させ、研修・訓練等を通じて内容を周知し、理解を深めていく。

2 災害時応援協定の実効性強化

各部各班は、災害時応援協定を締結するだけでなく、より有効かつ円滑な運用を行う観点から、具体的な運用のあり方や発災時の連絡体制の構築について、協定締結先と事前に調整・協議を行うものとする。